



この一般質問の映像は
こちらから

子ども・子育て支援環境の充実について



田村 浪行

質問

不安無く出産でき
安心な子育て環境は

町 三密回避を徹底し、支援を利用

問 コロナ禍で出産に不安を抱えている家族に対する対応は。

答 ひとり親世帯で子育てをしながら働く家庭に、支援の拡充は。

問 (子ども未来課長) 基本的には一般の方と同様に三密回避を徹底し、保健師からも直接感染予防の重要性を伝えている。また、コロナに感染しても胎児の異常や流産等を起こしやすさという報告はない。

答 (子ども未来課長) 育児の援助を提供するファミリーサポートセンター事業を、令和2年から実施し、利用料を一部助成している。

問 (子ども未来課長) 18歳までの医療費無償化や、おむつ券購入助成事業等を行っている。国は令和3年度での出産育児一時金の増額は行わないと示し、町も同様に対応する。

答 (子ども未来課長) 育児の援助を提供するファミリーサポートセンター事業を、令和2年から実施し、利用料を一部助成している。



ファミリーサポートセンター受付の様子
(子育て支援センター内)

※ファミリーサポートセンター…ゆめプラザ。那須の子育て支援センター内にあり、子育ての手助けをして欲しい人と、そのお手伝いを出来る人が会員になり、子育ての相互援助を行う組織。

地方創生臨時交付金の使途について

質問

地方創生臨時交付金の使途は

町 上乗せ支援を検討

問 国の第三次補正予算における地方創生臨時交付金を、解雇された方への雇用創出に充当する考えは。

答 (町長) 今年度は、緊急生活支援給付金、子育て世帯生活支援給付金等を実施。新年度は、生活支援として小中学校入学生や、高校卒業の節目において費用がかさむ家庭への支援金、交付金を充当する。今後の状況を踏まえて生活支援について適切な対策を進める。

問 (企画財政課長) 令和2年度は、休業や失業により小口資金や総合支援資金等を借り入れた方に、生活支援、雇用維持のための事業等を展開してきた。今後も厳しい経済状況が続くと想定されるので、直接的な雇用創出というよりも、国の制度に町として側面から支援の上乗せを検討する。

